

多様な学びを力に、新たな価値を創る 2 学期へ

— 2 学期始業式・表彰伝達・臨時生徒総会 —

令和 8 年 9 月 1 日

9 月 1 日（火）、2 学期始業式、表彰伝達、生徒指導部長講話および臨時生徒総会を行いました。新学期のスタートにあたり、本校の学びの特色や今後の学校生活について、全校生徒で考える機会となりました。



PowerPoint を用いて式辞を述べる校長



兵庫県大会で優秀賞を受賞した農業クラブの生徒



近畿大会優勝の表彰を受ける
ウエイトリフティング部員

校長式辞 — 淡路高校の学びを、自分でデザインする

校長からは、淡路高校の歴史と社会・進路の多様化を踏まえ、総合学科の成り立ちや本校の特色について説明がありました。本校は、普通科・農業科・生活科を前身とする幅広い専門性を受け継ぎ、県内で 3 番目に早く総合学科を設置しました。1 年次の「産業社会と人間」やキャリア教育を通して、学びながら自分の進路を広げ、何を学びたいかを考えられることが強みです。

また、県内公立高校で唯一のパティシエ・調理の学び、被災経験を生かした「防災と心のケア」や地域連携による「淡高サロン」など、本校ならではの学びが紹介されました。来年度から始まる「AWAJI 学」では、系列の壁を越えた 6 つの実践プロジェクトを予定しています。最後に、多様な専門性を持つ仲間と刺激し合える環境を生かし、「自分で学びをデザインし、新たな価値を創造してほしい」と、生徒への期待が伝えられました。

表彰伝達

兵庫県学校農業クラブ測量大会およびプロジェクト発表で優秀賞を受賞した生徒、近畿大会で優勝したウエイトリフティング部員に、表彰状が伝達されました。全校生徒から大きな拍手が送られました。

生徒指導部長講話・臨時生徒総会

生徒指導部長からは、悩みやストレスに関するアンケートへの協力依頼と、2 学期の行事に向けた生活について話がありました。身だしなみや服装を整え、淡高祭などの行事を充実させるためにも、日頃から規則正しい生活を送ることの大切さを確認しました。

続く臨時生徒総会は、2 年生の生徒会役員が司会進行を担当しました。体育大会の優勝学年に、景品を贈る提案が承認されました。また、淡高祭のテーマ募集と有志ステージの出演者募集について連絡がありました。